

～～第8774回～～

宝永山

～R1. 10. 6～

10月に入って、やっと涼しくなり、過ごしやすくなった。今年は、台風の影響でCANXが続いたので、久々の山行となった。焼津駅北口に集合して、富士宮口五合目駐車場目掛け、私有車1台で出発。走行中の車窓から富士山は、麓から山頂まで見えたが、中ほどに帯状の雲があって目的の宝永山は見えなかった。「今日は最高の登山日和だ。」「宝永山は見えてないが、あの雲は山のずうっと手前にある。」とか「朝方靄が掛かっているけど、陽が上がれば晴れて来る。」とか言いながら、雲が消えるのを期待しながら進んだ。登山口駐車場に着いた時、周辺はガスに覆われていたが、部分的に視界が晴れて時々山頂も見える程であった。軽くストレッチをしてから出発。登り始めてすぐのところのトイレで用を足し、六合目小屋を経由して宝永山方面へ向かった。第一火口分岐からは、くっきりと宝永山とそこへ至るルート、そしてそこを難儀しながら登っている人の姿が小さく見えた。また第二火口には、広範囲に紅葉したイタドリが黄金色に輝いて見えた。宝永第一火口で一休み。富士山頂方面を仰ぎ見ると宝永火口全体と富士山頂から縦に帯状に噴出した数本の溶岩が間近に見え、急に御嶽山噴火の様子を思い出して恐ろしくなった。ここから馬の背まで急勾配のザクザクした火山礫の登山道となった。馬の背から山頂は、高度差なし。晴れていれば箱根や伊豆半島の山々、駿河湾等が眺められたのに残念でした。ゆっくり昼食を摂って下山した。ルートは第一火口分岐から第二火口分岐を経由して林の中を通過して富士宮口五合目駐車場に向かった。最後まで雨に降られることはなかったが、車に乗った途端、パラパラ降り出して来て、「ラッキー!!」。すでに富士山登山期間は終了していて、六合目小屋から富士山山頂に登れないように閉鎖されていたが、柵を越えたり、隙間を通過して頂上を目指す人が大勢いた。

参加者：8名（焼津）

天気：曇

地図：富士山・須走

コースタイム：焼津駅北口 630＝富士宮口五合目駐車場 840…六合目小屋 915…第一火口分岐 920…第一火口 930…馬の背 1022…宝永山 1030-1110…第一火口 1145…第一火口分岐 1150…第二火口分岐 1155…富士宮五合目駐車場 1235

記録：焼津支部 伏見